

「月刊伝勇伝」とは

描き下ろしイラストや、ここでしか見られない最新情報などを
毎月お届けする伝勇伝オリジナルマガジン!
毎月お楽しみに!

TVアニメ放送情報

2010年7月よりテレビ東京ほかにて放送開始!
テレビ東京:毎週木曜日 深夜2時15分~
テレビ大阪:毎週金曜日 深夜3時35分~
テレビ愛知:7月7日より毎週水曜日 深夜2時58分~
※局の都合により、放送日、放送時間の変更の可能性もございます。

原作最新情報

・「ドラゴンマガジン9月号」
7月20日(火)発売! 『伝説の勇者の伝説』大特集!

コミック化決定!

SQUARE ENIX WEB MAGAZINE ガンガン ONLINE
にて「真伝勇伝・革命編 堕ちた黒い勇者の伝説」コミック版を掲載!

7月29日(木)より新連載スタート

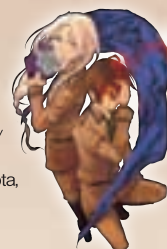
原作:鏡貴也

キャラクターデザイン:とよた瑠璃

作画:ほづみりや

<http://www.square-enix.com/jp/magazine/ganganonline/>

©Takaya Kagami & Saori Toyota, Fujimishobo



WEBラジオ情報

毎週金曜日配信! さらにアニメイトTVでも配信開始!
配信:ランティスネットラジオ/インターネットラジオステーション
<音泉>/アニメイトTV 出演:福山潤・高垣彩陽・小野大輔

モバイル公式サイトが完成!

最新ニュースをはじめ、伝勇伝の魅力を随時を紹介! 情報料:無料

<http://www.denyuden.jp/>

※本サイトをご利用になる際は、別途/パケット通信料がかかります。



メルマガ会員募集中!

メールマガジン会員を募集中! 携帯からもPCからも登録可能。お得な情報や先だし情報など、盛りだくさん。伝勇伝ファンなら是非登録してみてください。発行は不定期です。



OP/ED 情報

OPテーマ「LAMENT~やがて喜びを~」

歌:結城アイラ 発売日:7月21日(水)

EDテーマ「Truth Of My Destiny」

歌:Ceui 発売日:8月11日(水)

TVアニメ「伝説の勇者の伝説」公式サイト <http://www.denyuden.jp/>

STAFF

監督:川崎逸朗(『戦国BASARA』『鋼殻のレギオス』等)

シリーズ構成:吉村清子(『鉄のラインバレル』)

キャラクターデザイン:島沢ノリコ(『D.C. II ~ダ・カーポII~』『乙女はお姉さまに恋してる』)

アニメーション制作:ZEXCS(『鋼殻のレギオス』『うみのものがたり』等)

CAST

ライナ・リュート:福山潤/フェリス・エリス:高垣彩陽/シオン・アスター:小野大輔/キファ・ノールズ:大浦冬華
イリス・エリス:村田知沙/ルシル・エリス:杉田智和/ミルク・カラード:藤田咲/ミラン・フロワード:諏訪部順一
クラウ・クロム:伊丸岡篤/ルーク・スタックート:日野聡/カルネ・カイウェル:沢城みゆき/リレー・リンクル:岡本信彦
ラッヘル・ミラー:増谷康紀/エスリナ・フォークル:竹達彩奈/ノア・エン:高橋美佳子

月刊「伝説の勇者の伝説」第3号

平成22年7月3日発行 毎月1回

発行所:伝勇伝製作委員会

イラスト:島沢ノリコ

編集:山崎香弥(ユークラフト)

デザイン:高木信義

©2010 鏡貴也/伝勇伝製作委員会

※本誌掲載の記事の無断転載を禁じます。

編集後記

梅巻子です。テレビ放送が遂にスタート! これから半年間応援よろしくをお願いします!! 今月号は1号に続き、福山さんと小野さんの対談でした。いかがだったでしょうか? 気になる来月号はなんとフワード様特集ですよー。身が引き締まります! さてここでお知らせです。7月10日(土)発売の「アニメディア8月号」にて素敵なライナとフェリスのイラストが掲載されています! 是非チェックしてみてくださいね♪

月刊

伝勇伝オリジナルマガジン

伝説の勇者の伝説

The Legend of the Legendary Heroes

第3号

2010年7月より
テレビ東京ほかにて放送中!

福山 潤 × 小野大輔
対談 第2回目を掲載!!

FREE



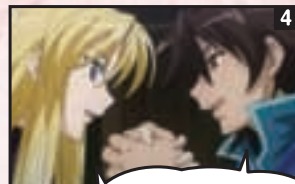
俺のために『勇者の遺物』を探してきてくれるんだろ、ライナ？

ライナの書いたレポートを読んだシオンは、ライナとフェリスに『勇者の遺物』を探して行くように命じる。洪々、探索に向かったふたりだが、ネルファ皇国の森の中でネルファ兵と対峙すること。『複写眼(アルファ・ステイグマ)』と剣技で応戦し、無事にその場を切り抜けたふたりは、『勇者の遺物』が眠る遺跡を目指すのであった。

ローランドから放り出された俺は今、フェリスと一緒にネルファにいる

美人だ

惑わされるなああっ!!



一度シメるか!



来る……



フェリスに「変態色情狂」とか罵られて、終いにゃあ剣をつつけられて、本当にめんどくさい



めんどくさい話けど、前へ進んでみるよ。お前のためにもぞー

Art Works

—設定画紹介—



ライナ・リュート

シオン・アスタール

『伝勇伝』最新設定画が到着!

◀ローランド王立特殊学院時代の制服。戦争を意識しているためか、軍服風のデザインになっている。ライナは襟を開け、シオンはネクタイをしているところが彼らの性格をよく表している。

Radio Report

—ラジオレポート—

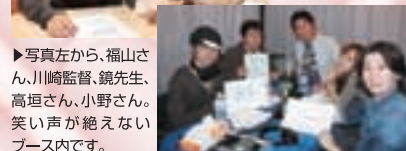
『伝説の勇者の伝説のラジオ』の収録現場に潜入! 収録中の福山潤さん・小野大輔さん・高垣彩陽さんの様子を激写してきました!



▲ラジオ収録後の撮影だったので、ぐったりしているかと思いきや、皆さんステキな笑顔でハイチーズ! さすがプロ!!



◀収録前の打ち合せ中。皆さん真面目に話を聞いて……ない!? 福山さん、耳から何か出てますよ(笑)。



▶写真左から、福山さん、川崎監督、鏡先生、高垣さん、小野さん。笑い声が絶えないブース内です。

プレセペ(<http://www.presepe.jp/>)の『伝勇伝ラジオ潜入レポート』で、『月刊伝勇伝』とは違う写真がレポート付きで掲載されています。こちら是非チェックしてみてください!

福山潤 × 小野大輔 対談

Jun Fukuyama Daisuke Ono 第2回

第6話のアフレコ後に、福山さん&小野さんに突撃取材を敢行!

——これまで収録を重ねてきて、自分の中で「何かが変わったな」と思う部分はありましたか?

福山:ライナの言葉の温度ですね。今日の収録が第6話だったんですが、第2話から第4話はライナがフェリスやシオンに出会うまでの状態、第5話からは彼らと出会ったあと、という風に時系列が変わっているんです。ふたりに出会う前は、上辺だけの会話だったかもしれない。でも、ふたりに出会ってからはちゃんと心から会話ができてくる。そういう人間らしい部分が、ライナにもちゃんとあったんだなあっていうのを感じました。

小野:会話に絞って言うと、それぞれのキャラクター同士の会話に、距離感や「誰がどういう風に思っているのか」というのがやっと見えてきましたね。腹を割って話せるというか。それができたからこそ、ライナとフェリス、シオンっていう3人組の日常が見えてきて。あの3人組って、「王」と「王の命令で動いているふたり」という構図なので、友だちという感覚ではないんだと思うんですね。でも、その「日常」が見えてきたことで、やっと僕らの腹の中に『伝勇伝』というものが、しっかりと落ちてきたという印象がありました。

——収録現場でのエピソードを教えてください。

福山:我々役者は真剣に、魂を込めて収録しているんですよ。なので、ガラスを一枚隔てたディレクションブースの方たちにも同じように、そういう緊張感を持ってもらいたいということで、スタッフの方がミスした場合、我々がキッとディレクションブースの方に振り返ってるんです。

小野:厳しいんですよ。

福山:厳しいんです! で、その一連のコント(笑)が終了したあとは、過度な緊張感がちょうど良い感じになっているので、それから収録に臨みます。

小野:スタッフさんで良い作品に関わらせていただいているのですが、今回も「やっぱり良いチームだな」と思っていますね。そういえば、長く一緒にやっているスタッフさんに「いや、シオンの声の乗りが良いんですよ」って言われたんですけど。これまでも何回かご一緒しているのに、そんなこと言ってくれたのが初めてで。「あ、これは信じよう」と思いましたね。シオンという役に自信を持てたという意味でも、そのスタッフさんに感謝です。

福山:俺、言われてない!

小野:お前はいつも安定してるからだよ!

——3人組のもうひとり、フェリス役の高垣彩陽さんの印象を教えてください。

福山:彼女はですね……。僕をダメな男にします。

小野:うん、そうだね。じゅんじゅんのダジャレに、すごい笑うもんね(笑)。

福山:「ダジャレはこんなにも人を楽しませることができんだ」って、すごく勇気をもらいました。彼女の笑いを糧に、これからもずっとダジャレと歩んでいきたいと思っています。

小野:もう生涯の伴侶みたいな感じになっているけど?

福山:あはは。いや、僕はダジャレで爆笑を取るなんていうのは10年くらい前に諦めていたので、すごく満たされています(笑)。

——『伝勇伝ラジオ』収録の感想を教えてください。

福山:本番を始めると、必ず何かが起こるんです。スタッフの方々が、寝る間を惜

しんで仕込みをしてくれているんですよ。

小野:仕込んでるよな。

福山:あんなラジオは初めてですよ! とんでもない威力のSEを作ってみたりね。

小野:あはは。しかも、その仕込んでる音っていうのは、作り込まれているほど面白いじゃないですか。「何でこんなに力を入れているんだ!?」って。

福山:それを本番まで伝えず、素振りも見せないのが『伝勇伝』のスタッフのすごいところ(笑)。

小野:そこが良いんだよね。そんな仕込みがいきなり本番で入るから、「何だこれは!?」と思うんですけど、その流れがまたさらに面白い(笑)。

福山:BGMも破壊力満点で。あれを作るのは相当大変だったと思う(笑)。

小野:投げっぱなしにせず、投げたものをすごい膨らませて、再構築してもらう一回出してくる。そういうことをスタッフさんがしてくれているんで、面白くないわけがない。本当に恵まれてると思います。僕たちをダメにする環境ですが(笑)。

福山:ただ、すごく面白いからこそ、ものすごく体力を使うんですよ! いつも燃えカスようになって帰ってきますから(笑)。

——では、そんな楽しい『伝勇伝ラジオ』のPRをお願いします。

福山:気になるうろが気になるまいが、一回聞いてみてください! そこですべてがわかります。「問題」と「答え」がそこにあります。

小野:じゅんじゅんのおっしゃる通りです。ラジオのかなあ、アレ。何かもう、音を使ったバラエティみたいになってます(笑)。新ジャンルです。聞けばわかるさ!

——では最後に、とうとう放送が始まった『伝勇伝』。今の気持ちを漢字1文字で表してください。

福山:「発」ですね。始まったということで「出発」という意味もあり、それが我々に「発破」をかけ、そして同時に嬉しいものでもあり。これが物語の「発露」である、と

いう意味もあり。なので、第1話をまだ見ていない方は、是非見てください。そして、これから先も見てください。面白いから!

小野:「同」とか? じゅんじゅんと「同じ」で(笑)。

福山:ダメです。

小野:じゃあ……。

——完——

福山:……終わった?

小野:あはは。でも第1話が終わったときの気持ちは「完」ですね。第1話は「これからこんなことが起きるけど、理由はまだ言えない」というダイジェスト的な部分だと思うんですが、その仕掛けが非のつけどころがないほどに「完璧」ですね。そして「発(『伝勇伝』の始まり)」の「完(終わり)」でもある。そういう意味も込めて。

